

# 兵庫県青年洋上大学同窓会 運営委員会

## 第1回 報告

2012年 5月29日

# 運営委員会

開催日時：2012年5月29日 火曜日 19時～20時45分迄

開催場所：兵庫県民会館 7階

出席者：大家 中川 木村 春名 大加茂 原 井上 板橋 嶋 丸尾 山本 新庄 (略称)

内容：1. ロケ地巡り 映画『阪急今津線～片道15分の奇跡～』を巡る

6月10日 詳細の打合せ 内容は記述無し・・・事業実施後

2. ロケ地巡り 第二回から第四回までについて

第三回は現在 未定 東播磨地区へ打診中

3. ファミリーキャンプについて

僕らは〇〇探検隊

①8月17日～19日 2泊3日 いえしま自然体験センター(旧 ははと子の島)

②2013年2月9日～11日 2泊3日 美方高原自然の家(とちのき村)

次回：2012年7月31日 火曜日 19時から 兵庫県民会館 7階

## ☆第4回 検討委員会のお知らせ

2012年6月9日 土曜日 16時から20時 兵庫県民会館 7階

# 運営委員会

## 1. 40周年事業 ロケ地巡り

第一回 6月10日 日曜日 阪神地区 阪急電車～片道15分の奇跡～

第二回 7月21日 土曜日 神戸地区 仮称 平清盛／神戸の偉人たち

第三回 9月30日 日曜日 未定

第四回 10月21日 日曜日 西播磨地区 仮称 ラストサムライ／名城姫路城

## 2. 40周年事業 映画の郷と季節を愛でる

第一回 11月4日 日曜日 秋の嵐山と映画撮影所 松竹映画撮影所予定

第二回 2013年 3月31日 日曜日

春の嵐山と映画撮影所 東映映画撮影所予定

# 運営委員会

## 1. 40周年事業 ロケ地巡り

**第一回 6月10日 日曜日 阪神地区 阪急電車～片道15分の奇跡～**

**第二回 7月21日 土曜日 神戸地区 仮称 平清盛／神戸の偉人たち**

- ◆ロケ地巡りシートによる計画 標準化による抜け／漏れ防止とプログラム開発の迅速性
- ◆ひょうご青少年社会貢献活動対象事業
- ◆予算は 参加費 1,000円程度＋同窓会より20,000円の補助金で運営
  - ※参加費、無料では無いこと
- ◆当日、スタッフは地区同窓会を中心に5名程度で運営する
- ◆参加者は、原則スタッフ含む20名以内とする

## 運営委員会

### 2. 40周年事業 映画の郷と季節を愛でる

第一回 11月4日 日曜日 秋の嵐山と映画撮影所 松竹映画撮影所予定

第二回 2013年 3月31日 日曜日

春の嵐山と映画撮影所 東映映画撮影所予定

検討委員会で詳細を作成する

◆撮影所との調整

◆昼食を含む参加費 5,000円程度の事業とする

※京都の風景と美味しいものと映画文化をテーマに『おとな』に耐える事業  
内容とする。

◆参加者は、最大20名とする

◆ひょうご青少年社会貢献活動対象事業

## 運営委員会

### 3. 40周年事業 ファミリーキャンプ ～ぼくらは〇〇探検隊～

第一回 8月17日 金曜日～19日 日曜日 2泊3日

兵庫県立いえしま自然体験センター（旧 ははと子の島）

募集家族：16組又は（48名～64名以内）

第二回 2013年 2月9日 土曜日～11日 月曜日（祭日） 2泊3日

尼崎市立美方高原自然の家（とちのき村）

募集家族：10組又は（30名以内）

◆スタッフは、各15名から20名以内

◆ひょうご青少年社会貢献活動対象事業

◆参加費 調整中 15,000以内を予定 スタッフ参加費は、5,000円程度予定

※正会員、賛助会員以外は+2,000円とする⇒正会員、賛助会員の増員

◆詳細プログラム作成中

◆参加者 募集は、6月10日を予定

## 運営委員会

### 3. 40周年事業 ファミリーキャンプ ～ぼくらは〇〇探検隊～

#### スタッフについて

夏、冬いずれかでの参加も可能であるが、両方での参加が望ましい。年間を通して、打合せ、研修、本番を行うことによって、野外活動のスキルアップ及び地域指導者としての育成を行う。

- ・セミナー（キャンプ研修）

6/23（土）、7/21（土）、2/2（土）

#### プログラムについて

- ・地獄博士に操られ海賊、山賊になって悪さをする村人達を、参加者が扮する探検隊が呪いから解放するという基本ストーリーの元、プログラムを展開する。
- ・H24冬、H24夏、H25冬の3部作とし、全体で一連のストーリーとする。
- ・最終的に地獄博士の正体とは？
- ・物語仕立てのキャンプとするが、過度に凝った内容とはせず、要所でのスパイスとして使用し、参加者には、ゆっくりと家族や仲間と自然を楽しむ時間を提供することを目的とする。

## 運営委員会

### 3. 40周年事業 ファミリーキャンプ ～ぼくらは〇〇探検隊～

#### 夏のあらすじ（コンセプトストーリー）

平成24年冬、但馬地方で悪さを働く山賊たちを、地獄博士の呪いから解放し、元の村人に戻した「探検隊」であった。そこで彼らが目にしたのは3つの光り輝くオーブ。オーブとは何なのか？地獄博士の正体とは？謎は解けぬまま、いったんは家路についたのであった。平成24年夏、今度は瀬戸内海の島で海賊が出現したとの知らせ。しかもその背後には、あの地獄博士の影が。ふたたび結成された「探検隊」の面々はともかく島へと向かうのであった。

しかし、どうやったら海賊を呪いから解放できるのか？

島に着いた後、早速、島内を探検するが海賊の姿は見当たらない。いったい彼らはどこに？代わりにヒントらしきものを見つける。

「月が闇に消えるとき、満天に輝く星々の中にオーブが現る。清きオーブの力により陰は失われん。黒きオーブの力により光は失われん。」冬の但馬で手に入れた3つのオーブ、これにどのような力があるのだろうか。

そして翌日、突然、海から海賊たちが「探検隊」を襲ってきた。どうやら、海賊の狙いは3つのオーブのようだ。激戦の末、なんとか退けることができた。夜、いよいよ海賊との決戦の時がきた。暗闇の中（注：8/18は新月です）海賊と対峙する。頭上には満天の星空。そのとき、突然オーブが光り輝き、海賊たちが倒れていく。オーブの光によって呪いから解放された島民たち（元海賊）。さあ、今夜は皆で宴だ！

翌日、目的を果たして満足そうに帰路へつく探検隊。そういえば、地獄博士とは何だったんだろう？？？

## 運営委員会

### 3. 40周年事業 ファミリーキャンプ ～ぼくらは〇〇探検隊～

#### 参加者への募集宣伝

- ・ 会員向け：ホームページ、こころ、ロコミ  
→小学生の子供をもった同窓会員への周知（10～20年前くらいの洋大生）
- ・ 一般向け：教育委員会等へ後援依頼？小学校へのビラ配布等